

奈何にと尋ぬれば、木乃伊の出づる國は、赤道の下にあたる國にて、極熱の地方なり、其の所にいと廣々たる砂地あり、其邊を往來する人は、土にてこしらへたる車に乗りて過ぐることなり、萬一誤つて地に落れば、忽に焦れて木乃伊となる、亦其木乃伊を取らんとて、土車に乗つて行く者あり、其者も、乗つたる車が破れるか、崩れて地に落つれば、同じく木乃伊になるといふ、是れ全く據なき妄説なり、

〔源平盛衰記 三十三〕木曾備中下向齋明被討并兼康討倉光事

妹尾太郎兼康ハ、木ヲ樵、草ヲ刈マデコソナケレ共、二心ナク木曾ニ被仕ケリ、是ハイカニモシテ、再故郷ニ歸、今一度舊主ヲ奉見、平家ノ御方ニ成テ、合戰ヲ遂ントノ計ナリ、中偷ニ銳刺人刀トイヘリ、木曾ハ是ヲモ不知シテ、齋明ト同時ニ切ベカリケレ共、西國ノ道シルベトテ、宥具シ給ケリ、

〔漢語大和故事 四〕笑ノ中ノ劍 コノ諺ハ、人ノ交、面向ハ懇切ノ體ニテ、内心ニハ敵ヲ結ビ、陰ニ害ヲナサント企ツ、是コ、ロヨク笑語中ニ、刃ヲ劔モノナリ、春道述懷ニ、言下暗生消骨火、中偷銳刺人刀イヘリ、又大學衍義曰、世謂林甫口有蜜、腹有劍、又天木集ノ歌、衣笠内大臣、何事ヲオモヒケリトモシラレジナエミノウチニモカタナヤハ、ナキ、同集ニ公朝、手ニトレバ人ヲサスデフイガグリノエミノウチナルカタナオソロシ、

〔鑑囊抄 一〕人ノハラグロナト云ハ何事ゾ、中孔子ノ腹、黒ト云事アリ、喩ヘバ魯ヨリ齊ヘ爲政道行給ニ、或山中、童子アリテ、樹上ヨリ小便ヲシカケタリケリ、孔子取敢ズ、ヨクシタリ、大剛者也ホメテ通給フ、其後時令尹通、又如以前シケリ、令尹是ヲ見テ、天下大害ヲ成サン者也トテ、引下頭、勿捨テケツ、略下

〔閑意瑣談 一〕俚俗の異説